

おたるしりつしょうがっこう
小樽市立小学校のがくしゅうかだい(1ねんせい)

5月18日(月)～22日(金)

【こくご】 ☆おうちのひとと そうだんして がくしゅうしていきましょう。

【べんきょうすること】 ※課題とは別内容ですが、光村図書ホームページ(光村図書からのお知らせ)に、学習支援コンテンツもございます。

◎「はなの みち」(きょうかしよ32～39ページ)

- (1) 「はなの みち」を よんでみましょう。
うまく よめないところは おうちのひとに よんでもらいましょう。
- (2) 「はなの みち」には だれが でてきたか いてみましょう。
- (3) 33ページの えを みましょう。
①なにが あるか いてみましょう。
②だれが なにを しているか いてみましょう。
- (4) 35ページの えを みましょう。
①どんな どうぶつが いるか いてみましょう。
②だれが なにを しているか いてみましょう。
③くまさんと りすさんは どんなおはなしを しているか いてみましょう。
- (5) 36、37ページを みましょう。
①だれが なにを しているところか いてみましょう。
②くまさんと りすさんは どんなおはなしを しているか いてみましょう。
③くまさんは どんな きもちでしょうか いてみましょう。
- (6) 38、39ページを みましょう。
①34、35ページと どこが ちがうでしょうか いてみましょう。
②うさぎさんは なんていっているか かんがえてみましょう。
③ほかのどうぶつが いていっていることも かんがえてみましょう。
- (7) 「はなのみち」には くまさんが おはなししているところが 2かしょあります。
①みつけて ゆびを さしてみましょう。
②それぞれ どういうふうに よんだらよいか かんがえましょう。
- (8) 「はなの みち」を じょうずによめるように れんしゅうしましょう。

◎「かきと かぎ」(きょうかしよ42～43ページ)

- (1) 42ページのぶんを りすむにのって よんでみましょう。
- (2) わからないことばを おうちのひとに きいてみましょう。
- (3) 43ページの 「さる」と「ざる」はどこがちがうか いてみましょう。
- (4) あたらしいひらがながでてきたら かきじゅんにきをつけて こえにだしながら のーとにれんしゅうしましょう。「ゝ」のいちにも きをつけてみましょう。

【保護者のかかわり方のポイント】 *可能な範囲でお願いします。

- はじめの物語教材です。登場人物を確認しながら読むとよいと思います。また、季節が冬から春へ変化します。(6)の設問の時に、一緒に確認すると効果的です。
- 文や挿絵をてがかりに、たくさんの会話を想像させてあげてください。
- (3)から(6)の設問では、「だれが どうしている。」という主述の関係を意識できるように声をかけていただくとよいと思います。挿絵をてがかりに多様な答えが考えられます。考えたことを、是非、ほめてあげてください。また、「くまさん」の行動にもふれるようにすると、話の筋をつかみやすくなります。

おたるしりつしょうがっこう
小樽市立小学校がくしゅうかだい(1年生)

5月18日(月)～5月22日(金)

【さんすう】 保護者の皆様へお願い 字を読んであげてください。
一緒に数えたり、数を確かめたりしてあげてください。

<べんきょうすること> は べんきょうしていくときのだいじなことです。

◆「もったかずをみつけよう」(きょうかしよ22～23ページ)

1 きょうかしよ 22、23ページ を べんきょう しましょう

(1) いろいろな ものの かずを こえにだして かぞえてみましょう。

- ①とりのかずは ぜんぶで なんわですか。1わずつ かぞえましょう。
- ②9ひきいる いきものは なんですか。
- ③ほかにも いろいろな ものを かぞえてみましょう。

◆2「なんばんめ」(きょうかしよ24～27ページ)

2 きょうかしよ 24、25ページ を べんきょう しましょう

(1) どうぶつたちの えをみて なにを しているところか かんがえましょう。

かんがえたことを こえにだしましょう!

(2) ねずみの えをみて こたえましょう。

- ①まえから3びきを ○で かこみましょう。
まえから3びきとは まえの3びきぜんぶ をいいます。
- ②まえから 3びきめを ○で かこみましょう。
まえから3びき「め」とはその1びきだけ をいいます。

(3) はこの えをみて こたえましょう。

- ①ひだりから 4こを ○で かこみましょう。
ひだりから4ことは ひだりの4こぜんぶ をいいます。
- ④ひだりから 4ばんめを ○で かこみましょう。
ひだりから4ばん「め」とはその1こだけ をいいます。

3 きょうかしよ 26ページ を べんきょう しましょう

(1) 11と12を おぼえましょう。

- ① いぬは まえから なんばんめか かぞえて □に すうじを かきましょう。
- ② まえから いのししまで なんひきいますか。□に すうじを かきましょう。
10の つぎのかずを 11 (じゅう いち) といいます。
11の つぎのかずを 12 (じゅう に) といいます。
※27ページはよんでおきましょう。

◆3「いま なんじ～なんじ・なんじはん～」(きょうかしよ28～30ページ)

4 きょうかしよ 28・29ページ を べんきょう しましょう

(1) とけいの よみかたを おぼえましょう。

みじかいほうが8、ながいほうが12 → 8じ
みじかいほうが8と9のあいだ、ながいほうが6 → 8じはん

- ① 29ページのとけいをよんで、なにを しているじかんか かんがえましょう。
- ② 30ページの もんだいに ちょうせんしましょう。